

令和 5 年度北区健康福祉課主要事業（3 月末現在）

基本目標 1	気づきあい・思いやり・助け合いの意識を持った地域づくり		
基本方針 2	お互いに思いやり、助け合える関係を作ろう		
	2 地域包括ケアシステムの推進 (モデルハウスの運営) (高齢介護係)	・・・	P. 1
基本目標 2	つながり、交流し、支えあう地域づくり		
基本方針 2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう		
	2 地域包括ケアシステムの推進 (支え合いのしくみづくり会議の開催) (高齢介護係)	・・・	P. 2
	3 多世代交流カフェ ひとやすみ Y&M の開催 (区づくり事業) (児童福祉係)	・・・	P. 4
基本目標 3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針 1	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう		
	2 児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」 (児童福祉係)	・・・	P. 5
基本方針 2	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう		
	1 ふゆっこまつり開催 (区づくり事業) 「第 16 回北区ふゆっこまつり」 (児童福祉係)	・・・	P. 7
基本目標 4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針 1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
	1 各種がん検診の周知 (健康増進係)	・・・	P. 9
	2 特定健康診査の受診率向上 (健康増進係)	・・・	P. 10
	5 北区もの忘れ検診 (区づくり事業 R5) (健康増進係)	・・・	P. 12
	6 北区てくてくウォーク (健康増進係)	・・・	P. 14
	7 健康増進普及講習会 (健康増進係)	・・・	P. 15
	8 生活習慣病予防教室 (血压元気塾) (健康増進係)	・・・	P. 16
	9 フレイル予防 (健康増進係)	・・・	P. 18

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標1	気づきあい・思いやり・助けあいの意識を持った地域づくり		
基本方針2	お互いに思いやり、助けあえる関係をつくろう		
2	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (モデルハウスの運営)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 住民同士の支え合いのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。</p> <p>[事業内容] 北区地域包括ケア推進モデルハウス「松浜こらぼ家」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日 平成29年3月23日 ・開設場所 北区松浜本町2-13-7 ・運営団体 松浜こらぼ家運営委員会 代表 上松 鉄雄 ・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ティールーム … 平日月・水・金 午前10時から午後3時 利用料無料(コーヒー100円、ケーキ120円) バザール(月1回)、いきいきこらぼ体操(月2回) 映写会(月1回)、展示会・作品展(年3回) 保健師による健康相談(月1回) 作業療法士による生活相談(2カ月に1回) 		
	事業実績	<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日及び時間 平日月・水・金 午前10時から午後3時 ・開設日数：139日 ・利用者数：延べ2,785人(男性257人、女性2,528人) 1回あたり20人 <p>[課題と今後の方向性] 支え合いのしくみづくり推進員が定期的に生活支援活動を行うなど、モデルハウスを活用した地域での支え合いのさらなる推進に取り組む予定。</p>	

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2	つながり、交流し、支えあう地域づくり		
基本方針2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう		
2	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (支え合いのしくみづくり会議の開催)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 地域における支え合いのしくみづくり、支え合い活動の推進を図るため区域および日常生活圏域ごとに「支え合いのしくみづくり会議（協議体）」を設置し、コーディネーター役である支え合いしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）を配置する。</p>		
	<p>[事業内容] 区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置 平成27年12月25日 ・構成団体 北区自治協議会、北区民生委員児童委員連絡協議会、北区老人クラブ連合会、北区豊栄地区コミュニティ協議会、北地区連合自治振興会、シルバー人材センター、JA新潟市、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、JA新潟厚生連豊栄病院、豊栄商工会、北新潟商工振興会、新潟医療福祉大学、にいがた北青年会議所、北区社会福祉協議会、北区健康福祉課 ・事務局 北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 北区社会福祉協議会 岡村陽平 <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置「松浜・南浜・濁川圏域会議」 平成28年10月11日 「葛塚・木崎・早通圏域会議」 平成28年 8月 5日 「岡方・長浦圏域会議」 平成28年12月16日 ・構成団体 圏域内コミュニティ協議会、圏域内民生委員児童委員協議会、圏域内老人クラブ代表団体、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、地域包括支援センター、豊栄商工会、北新潟商工振興会、民間企業、医師会推薦者、北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 松浜・南浜・濁川圏域 愛宕福祉会 白川 弘美 葛塚・木崎・早通圏域 北区社会福祉協議会 三浦 美穂子 岡方・長浦圏域 豊聖福祉会 本間 啓幸 		

事業実績	<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月7日、支え合いのしくみづくり会議構成員研修会を開催。支え合いのしくみづくりについて理解を深め、構成員の役割等の習得・再認識と各圏域の構成員間の交流を図った。 ・7月5日、地域の茶の間交流会 in 北区を開催。活動紹介の後、情報交換を行い参加者の交流を図った。 ・9月、支え合いのしくみづくり広報誌第7号を区内全戸に配布。 ・10月16日、生活支援の取り組みにかかる運転者講習会を開催。活動者と利用者双方にとって、運転を伴う活動がより安全・安心なものとなる機会になった。 ・11月10日、住民主体の訪問型生活支援研修会を開催。自治会やコミュニティ協議会等からの参加者も多く、区内外の団体の活動紹介の後、数多くの質問が出された。 <p>区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月6日 第2層協議体進捗状況報告 支え合いのしくみづくり出前講座等開催状況報告 「地域の茶の間交流会 in 北区」ほか研修会等の開催報告 支え合いのしくみづくり広報誌第7号発行について 「北区宅配・生活支援サービス取扱店一覧冊子」「北区における買い物支援」の取り組みについて ・3月6日 第2層協議体進捗状況報告 支え合いのしくみづくり出前講座等開催状況報告 支え合いのしくみづくり広報誌第8号発行について 令和6年度北区支え合いのしくみづくり会議の重点目標とスケジュールについて <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <p>「松浜・南浜・濁川圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月4日 各地区部会活動状況報告 地域の茶の間開設状況や広報誌、買物支援の状況や研修会等についての情報共有 新型コロナウイルス感染症の現状と今後についての講話 ・2月28日 地域の茶の間開設状況や広報誌、研修会についての情報共有 各地区部会活動状況報告、他圏域の活動報告、補助金説明 独居高齢者に関する講話
------	--

<p>「葛塚・木崎・早通圏域会議」 会議は令和6年2月実施予定</p> <ul style="list-style-type: none">・2月9日 各地区部会進捗状況報告 推進員活動報告 令和6年度の活動について、基本方針や取り組みの協議 <p>「岡方・長浦圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none">・12月21日 全体での情報共有及びグループ協議の実施 「地域の茶の間交流会 in 北区」ほか研修会等の開催報告 支え合いのしくみづくり広報誌第7号発行について 「いろいろ岡方サロン」について・3月15日 全体での情報共有及びグループ協議の実施 支え合いのしくみづくり広報誌第8号、令和6年度の取り組みについて 「いろいろ岡方サロン」について 令和6年度 長浦コミュニティ委員会の取り組みについて <p>[課題と今後の方向性]</p> <p>高齢化が進むにつれて単身世帯の増加や人口が大幅に減少する地域がでてくることも想定され、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりはますます重要となる。今後も支え合いのしくみづくり推進員を中心に住民同士の支援活動を推進していく。</p>
--

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2	つながり、交流し、支えあう地域づくり																																										
基本方針2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう																																										
3	事業名	多世代交流カフェ ひとやすみ Y&M (区づくり事業)																																									
		児童福祉係																																									
事業概要	<p>[事業の目的] 地域の乳幼児から子育て中の親子や妊産婦、高齢者までの多世代を対象にカフェを開催し、交流の機会を提供することで、地域での交流と子育ての支え合いを効果的に促進する。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営団体：早通健康福祉会館運営委員会 (スタッフは早通健康福祉会館の運営に協力している地域住民) 場 所：早通健康福祉会館 対象者：主に地域に住む乳幼児から子育て中の親子や妊産婦、高齢者 実施内容 (1) 多世代交流カフェ…月1回(最終水曜日) 午前10:00～12:00 (2) 子育て向け講座…年間4回(不定期開催) 																																										
	事業実績	<p>[事業実績] 早通健康福祉会館を会場に、多世代交流カフェを12回実施。子育て支援講座を3回実施。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>カフェ開催日</th> <th>参加者</th> <th>カフェ開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月26日</td> <td>大人14名 幼児1</td> <td>10月25日</td> <td>大人12名</td> </tr> <tr> <td>5月31日</td> <td>大人13名</td> <td>11月29日</td> <td>大人11名</td> </tr> <tr> <td>6月28日</td> <td>大人12名</td> <td>12月27日</td> <td>大人11名</td> </tr> <tr> <td>7月26日</td> <td>大人14名</td> <td>1月31日</td> <td>大人20名</td> </tr> <tr> <td>8月30日</td> <td>大人13名</td> <td>2月28日</td> <td>大人16名</td> </tr> <tr> <td>9月27日</td> <td>大人7名</td> <td>3月27日</td> <td>大人18名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援講座開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月25日</td> <td>駄菓子屋</td> <td>子ども60名 大人21名</td> </tr> <tr> <td>9月18日</td> <td>お楽しみ座談会</td> <td>大人13名</td> </tr> <tr> <td>10月29日</td> <td>駄菓子屋</td> <td>子ども48名 大人25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>[課題と今後の方向性] 多世代交流カフェと子育て支援講座を開催することで、地域で支える子育ての促進を進めていく。多世代交流カフェへの子ども連れの利用者が増えるよう、居心地の良い居場所づくりを目指していく。</p>			カフェ開催日	参加者	カフェ開催日	参加者	4月26日	大人14名 幼児1	10月25日	大人12名	5月31日	大人13名	11月29日	大人11名	6月28日	大人12名	12月27日	大人11名	7月26日	大人14名	1月31日	大人20名	8月30日	大人13名	2月28日	大人16名	9月27日	大人7名	3月27日	大人18名	支援講座開催日	内容	参加者	6月25日	駄菓子屋	子ども60名 大人21名	9月18日	お楽しみ座談会	大人13名	10月29日	駄菓子屋
カフェ開催日	参加者	カフェ開催日	参加者																																								
4月26日	大人14名 幼児1	10月25日	大人12名																																								
5月31日	大人13名	11月29日	大人11名																																								
6月28日	大人12名	12月27日	大人11名																																								
7月26日	大人14名	1月31日	大人20名																																								
8月30日	大人13名	2月28日	大人16名																																								
9月27日	大人7名	3月27日	大人18名																																								
支援講座開催日	内容	参加者																																									
6月25日	駄菓子屋	子ども60名 大人21名																																									
9月18日	お楽しみ座談会	大人13名																																									
10月29日	駄菓子屋	子ども48名 大人25名																																									

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針1	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう		
2	事業名	児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」	児童福祉係
事業概要	<p>【事業の目的】 児童虐待等の相談に対して関係職員等が迅速、的確に対応し、かつ関係機関の支援・連携が円滑に行われるよう、資質向上を図る。</p> <p>【事業内容】 開催日 未定 会場 未定 対象 新潟市北区要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員等 北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、子育て支援センター、保育園、幼稚園、児童館、小学校、中学校、ひまわりクラブ、主任児童委員、北区健康福祉課</p> <p>内 容 ①講演（テーマ及び講師は未定） ②地区ごとに分かれての情報交換会</p> <p>【要保護児童対策地域協議会について】 年間12回程度 新潟市北区要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、支援状況の報告と確認をしている。今年度も適宜新規ケースも含み、実施していく。</p> <p>【実務者会議構成機関】 児童相談所、新潟北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、主任児童委員、弁護士、市教委学校支援課、障がい者基幹相談支援センター東、北地域保健福祉センター、地区保健福祉担当、北区女性相談員、北区健康福祉課各係など ○年1回北区で研修会を開催している。</p> <p>【地区連絡会構成機関】 主任児童委員、新潟北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、保育園、幼稚園、小学校、中学校、ひまわりクラブ、児童館</p> <p>【実務者会議のケース件数】 R4 31件（きょうだい事例はひとりにつき1件）</p> <p>【児童について新規相談で受け付けた件数（のべ）】 R4 213件</p>		

[事業実績]

令和5年10月25日（水）開催

要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員 59名参加

○研修内容 子どもの「あたりまえ」を守るために

児童福祉法の改正や地域での連携の大切さについて

講師 新潟県立大学人間生活学部子ども学科教授 小池 由佳氏

[課題と今後の方向性]

要保護児童への支援をおこなっている関係者や関係機関への研修は啓発の側面もあり、今後ますます重要と考える。研修内容については、より実践的な研修を行ってほしいとの要望もあり今後検討していく。また、研修とともに実施している情報交換会は、今後の連携を図るうえで有意義であり、継続実施に努める。

事業実績



令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針2	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう		
1	事業名	ふゆっこまつり開催（区づくり事業） 「第16回北区ふゆっこまつり」	児童福祉係
事業概要	<p>【事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸外で遊べない冬の新潟で、親子で思い切り遊べる場を提供し、児童の健全育成と子育て支援の推進を図る。 ・事業を通し、子育て支援や児童健全育成に関わる個人・団体・ボランティアの交流・ネットワークを深め、地域で子育てを支え合う輪をつなぐ。 <p>【事業内容】</p> <p>主催 北区ふゆっこまつり実行委員会 主催者である実行委員は、区政推進のために「第1回ふゆっこまつり」の立ち上げから携わっている有志区民と、下記後援団体からの代表者と、新潟医療福祉大学職員及び学生で構成されている。</p> <p>後援 新潟医療福祉大学、新潟市教育委員会</p> <p>日時 未定</p> <p>対象 主に乳幼児から小学校低学年くらいまでの親子</p> <p>内容 未定</p>		
	事業実績	<p>【事業実績】</p> <p>コロナ禍により、R2年度より中止、実施内容の変更を余儀なくされていたが、R5年度はR1年度以来となる通常開催。</p> <p>日時：令和6年2月12日（月・振替休日）</p> <p>場所：北区役所、豊栄地区公民館、北区文化会館</p> <p>来場者数：約2,000人</p> <p>【課題と今後の方向性】</p> <p>働き方の変化により、担い手である実行委員の減少が顕著となっている。事業目的のひとつであるネットワークの構築について、改めて検討する必要がある。</p>	



令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
1	事業名	各種がん検診の周知	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] がん検診受診率の向上を図るため、区内の医療機関や事業所等と連携し、啓発活動を進めるとともに、「区役所だより」・「コミ協だより」への掲載、検診カレンダーの全戸配布などを行い、検診の周知を図る。</p> <p>[事業内容] ①広報用ポスター・健康づくりミニブックを作成し、委託医療機関や調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ②検診カレンダー全戸配布 ③区だより掲載 年8回 ④コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤検診開催時PR ⑥健康教育や地域保健活動でPR ⑦北地区へ回覧板で周知</p>		
事業実績	<p>[事業実績] ①広報用ポスター・健康づくりミニブックを作成し、委託医療機関や調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ②検診開始前の4月に検診カレンダー全戸配布 ③区だより集団がん検診日程掲載 年8回 健康ひろばで2回「胃がん」・「乳がん」について掲載 検診PR ④コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤集団検診開催時、受診者へ個別にPR ⑥健康教育や地域保健活動でPR ⑦8月に北地区へ回覧板で検診を周知</p> <p>[課題と今後の方向性] 今年度と同様に取り組みを行う。</p>		

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
2	事業名	特定健康診査の受診率向上	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 健康寿命の延伸および生活習慣病予防のため、特定健診の受診率を向上させる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 国保新規加入者へ電話での受診勧奨 対象者：令和5年5月30日受診券送付者の内、国民健康保険加入者の60～67歳。 今年度40歳になる新潟市の健診が初めての方。</p> <p>② 看護職による電話での受診勧奨 対象者：令和5年度、ミニドック対象者で受診率の低い40歳代、50歳代が中心。</p> <p>③ ミニドック型集団健診の実施 実施内容：特定健診のみ受診、またはオプションで各種がん検診（肺、胃、大腸、前立腺、乳）、ピロリ菌検査、肝炎ウィルス検査を選択できるものとする。 対象者：以下のいずれも該当する人 ・受診日当日に新潟市国民健康保険に加入している ・令和6年3月31日現在の年齢が40歳から74歳 ・令和4年4月1日以降、新潟市国民健康保険加入者対象の特定健診未受診（2年連続未受診者） 日 程：午前 会 場：3会場 定 員：110人×3回=330人 周知方法：対象者に案内はがきを郵送する。 (令和5年7月5日㊞連合会請求受付分までを受診済とする)</p>		

[事業の成果]

- ① 国保新規加入者への架電による受診勧奨
- ・40歳、60～67歳を対象に実施、不在の場合時間帯を変えて架電
 - ・対象者263人中、通話できた人は152人。うち特定健診を受診した人数は32人(21.1%)昨年度同時期の受診割合13.7%より増加。
 - ・本人と話ができた85人のうち、受診済み5人、予約済み6人、受診了承・受診検討67人(78.8%)が受診について前向きな反応。他7人は職場での健診がある、がんの治療中等の理由で受診しない。
- ② 看護職による架電での受診勧奨
- ・ミニドック対象者で受診率の低い40、50歳台を中心に実施
 - ・コールセンター受付終了後は予約希望者をそのまま受付した。
 - ・対象者685人中通話できた人は603人。そのうちミニドックを受診した人数は46人(6.71%)昨年度同時期の受診割合6.42%より増加している。
 - ・本人と話ができた中で、受診済み18人、受診了承・受診検討139人が良い反応だった。
 - ・未受診理由としては通院中が一番多かった。
- ③ ミニドック型集団健診の実施
- 今年度から定員を330人に増やした。
予約は302人。当日受診者は282人。昨年度同様圧着ハガキで案内。予約期間中からの架電勧奨が効果的であった。

特定健診対象者数	ミニドック案内発送数	受診数	案内者に対する受診率	ミニドックで増加する特定健診の受診率
12,225人	5,707人	282人	4.94%	2.31%

<特定健診受診者数・受診率>

今年度の特定健診受診率は29.32%で新潟市全体の29.86%を下回っている。昨年度同時期28.54%と比較すると0.78%増加している。
(令和6年3月5日までに国保連合会を經由し医療機関から提出された数)

[課題と今後の方向性]

- ・国保新規加入者への架電、看護職による受診勧奨・ミニドックの受付は効果があるため継続実施する。
- ・ミニドック型集団健診は、一度に健診を受けられる利点があり、案内が届くことで受診行動につながり、受診率向上に効果があるため継続実施する。

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり										
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう										
5	事業名	北区もの忘れ検診 (区づくり事業 R5)	健康増進係								
事業概要	<p>[事業の目的] 認知機能の低下している高齢者を早期に発見し、認知症への移行を防ぐとともに、認知症の進行を遅らせるため、適切な治療・サービスにつなげる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 北区もの忘れ検診の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>北区に住民票がある令和5年度65歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人</td> </tr> <tr> <td>実施医療機関</td> <td>北区内の13医療機関</td> </tr> <tr> <td>検診内容</td> <td>簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診時に実施。</td> </tr> <tr> <td>精密検査</td> <td>もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。</td> </tr> </table> <p>② 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検診受診券発送の際、同封している検診案内冊子にもの忘れ検診案内を掲載。 ・4月に検診カレンダーに併せ、もの忘れ検診チラシを全戸配布。 ・4月区役所だよりに掲載 ・チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布。 <p>③ 検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会(協力医療機関医師)1回 北区医師会班会議で報告2回 予定 ・5月に地域包括支援センター連絡会議にて報告、意見交換 予定 			対象者	北区に住民票がある令和5年度65歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人	実施医療機関	北区内の13医療機関	検診内容	簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診時に実施。	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。
	対象者	北区に住民票がある令和5年度65歳以上の新潟市国民健康保険、新潟県後期高齢者保険加入者及び生活保護受給者で認知症の診断を受けたことがない人									
	実施医療機関	北区内の13医療機関									
	検診内容	簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診時に実施。									
	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。									

[事業実績]

① もの忘れ検診実施状況 (R6.3 末現在 報告分)

一次受診者	合計	構成比
合計	819	100.0%
異常なし	804	98.2%
要経過観察	3	0.4%
要精密検査	12	1.4%

② 啓発活動

- ・4月に検診カレンダーに併せ、もの忘れ検診チラシを全戸配布。
- ・4月の区役所だよりに掲載
- ・チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布
- ・健康づくりのミニブックに掲載
- ・各種検診案内冊子に掲載（65歳以上全員に個別郵送）
- ・地域包括支援センター、支えあいのしくみづくり推進員など、地域の関係機関へ受診勧奨協力依頼
- ・各種保健事業や地域活動の際にPR


③ 検討会の開催

- ・12月5日に、検診実施医療機関医師、地域包括支援センター代表者と検討会をZOOM開催し、受診及び地域でのフォロー状況を共有。区内の実施医療機関以外の医師への理解を更に進め、受診者数を増やす対策について検討した。
- ・7月・12月、医師会15班会議（ZOOM）で検診状況を報告した。
- ・5月・11月、地域包括支援センター連絡会議にて現状報告し、地域包括支援センターのフォロー状況や検診に関する現場の声を聞いた。

[課題と今後の方向性]

実施医療機関や地域包括支援センターと連携して、多くの方が受診し、認知症の早期発見・早期対応に繋がるよう工夫し実施する。

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
6	事業名	北区てくてくウオーク	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣がない方に、運動を始めるきっかけをつくる。 <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング体験を通して、ウォーキングの方法や効果の習得を支援します。 ・運動普及推進委員と協働で、北地域と豊栄地域で各1回実施。 		
	<p>[事業成果・実績]</p> <p>① 豊栄地域 6月6日 ビュー福島潟周辺ウォーキング 10人参加</p> <p>② 北地域 11月21日 濁川公園周辺ウォーキング 14人参加</p> <p>合計 2回実施 延24人参加</p> <p>[課題と今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区だより、コミセンだより、チラシの配布、各種保健事業や地域活動の際にPRし周知した。また、協働で実施する運動普及推進委員による地域での勧誘で参加した人も多かった。 ・参加者には好評であった。 ・今年度の実施をふまえ、開催日やウォーキングの距離、コースなど運動普及推進委員と検討し設定する。 		
			

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
7	事業名	健康増進普及講習会	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <p>生活習慣病の一次予防を目的として、運動、栄養、休養等の生活習慣を柱に健康づくりを啓発普及するとともに、市民の健康づくりの定着を図るため、新潟市食生活推進協議会と共催し、地域のニーズを反映したテーマで講習会を実施する。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10月～2月 7回 ・会場 区内のコミュニティセンター等 ・対象 一般市民 ・内容 管理栄養士による講話、調理実習・試食、簡単な体操 等 ・周知 チラシ、「区役所だより」、各地区広報誌等 		
事業実績	<p>[事業実績]</p> <p>新型コロナウイルスが5類感染症に位置づけられたことに伴い、調理実習・試食を再開した。</p> <p>○調理実習あり 4回（食推各グループ1回） 参加者 延べ31人 栄養士講話：「覚えておきたい減塩のヒント」 主菜1品、副菜1品の調理実習・試食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は伸びなかったものの、参加者の反応は良く、アンケートではほとんどの方が「よくわかった」「わかった」と回答し、また参加したいとの声が多かった。講話だけでなく実際に薄味を体験することで、減塩を意識する良いきっかけとなった。 <p>○調理実習なし 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨粗しょう症予防相談会での普及啓発 1回 30人 ・ゆりかご学級交流会（豊栄地区公民館）での栄養士講話およびパッククッキング紹介 1回 8人 ・豊栄地区公民館にて栄養士講話およびパッククッキング紹介 1回 34人 <p>[課題と今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が伸びないことが課題。コロナ禍では活動自粛で調理実習ができない中、地域に出向いてデモンストレーションを行うなど、新たな手法にて地域で普及活動を行ってきた。この良い点を生かしながら、調理実習を伴うものだけでなく、様々な集まりに出向く等、より多くの方に普及啓発できるよう開催方法を検討中。従来の普及講習会では子育て世代の参加者はほとんどいないため、公民館と連携し、今後も若い世代が集まる機会を活用していく。 		

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
8	事業名	生活習慣病予防教室	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <p>脳血管疾患・高血圧・糖尿病重症化予防を重点とし、生活習慣病予防の知識普及、生活行動の改善・実施を目的とする。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施回数：2回コース型講座を3回実施。 うち2回のコース1回目を公開講座とする。 開催日：6月～10月 会場：豊栄地区公民館、早通コミュニティセンター、北地区コミュニティセンター 対象、定員： <ul style="list-style-type: none"> 【公開講座のみ（50名）】 おおむね40歳以上で高血圧・糖尿病予防等に関心のある者 【コース（20～30名）】 対象地域の住民のうち、概ね70歳未満で高血圧・糖尿病予防等に関心のある者 内容： <ul style="list-style-type: none"> 【公開講座】医師の話、栄養士の話 【2回コース】保健指導、運動指導、食事指導、食事記録記入等 ※2回コース参加者に尿検査（推定食塩摂取量の検査）を実施 周知 前年度特定健診の結果に基づいた個別通知、チラシを保健センター等に設置、区役所だよりやコミセンだより等に掲載、地区活動でPR 		
事業実績	<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開講座のみ参加者【豊栄地区公民館】5名 【北地区コミュニティセンター】3名 2回コース参加者【豊栄地区公民館（公開講座含む）】延べ36名 【早通コミュニティセンター】延べ20名 【北地区コミュニティセンター（公開講座含む）】延べ46名 尿検査による推定食塩摂取量の変化（2回コースのみ） 		

前後比較できた47名中24名(51.1%)が教室実施後、推定食塩摂取量が減少。(初回平均9.6g 2回目平均9.3g)

- ・尿検査による推定カリウム摂取量の変化(2回コースのみ)
前後比較できた47名中26名(55.3%)が教室実施後、推定カリウム摂取量が増加。(初回平均1675mg 2回目平均1687mg)

○アンケート結果より

- ・70代の参加者が多かった。(58.6%)
- ・高血圧・高血糖の方に向けた案内からの申し込みは9人(案内送付数の3.1%)と少なかった。
- ・参加者の87.2%が今後、生活習慣を改善するつもりがある、もしくはすでに改善に取り組んでいた(無回答8.5%)
- ・「自分は減塩に気を付けている」と回答していた方でも尿検査の結果では食塩摂取量が多いことがあり、食塩摂取量を数値として確認できる尿検査は有効であり、参加者の関心も高かった。

[課題と今後の方向性]

- ・令和6年度は引き続き2回コースを3回実施予定。
うち1回は公開講座として実施予定。うち2回はコミュニティ協議会等の地域団体に協力を仰ぎ、対象地域を定めて実施予定。
- ・尿検査(尿中塩分測定)を引き続き実施する。
- ・参加者が伸びないことが課題となるため、より多くの方に参加してもらえるよう周知方法や内容を検討する必要がある。
- ・個別案内が参加のきっかけとなる割合は少なかったが、案内に知識啓発のリーフレットも同封しており、教室に参加できない方向けの情報提供のために、今後も個別案内は継続していく。

令和5年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり					
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう					
9	事業名	フレイル予防			健康増進係	
事業概要	<p>[事業の目的] 健康な状態と要介護状態の間であるフレイル(虚弱)を予防し、健康寿命延伸を目的に実施。フレイルチェックの実施と、各種健康教室、講座等を提供し、高齢者自身で生活習慣改善に取り組めるよう、コミュニティ協議会や支え合いのしくみづくり推進員、地域包括支援センターなどの関係機関やフレイルサポーター(元気高齢者ボランティア)などと連携して支援する。</p>					
	<p>[事業内容] <拠点型> 会 場：北地区コミュニティセンター、葛塚コミュニティセンター、岡方コミュニティセンター 日 程：各会場2回 9月と3月に実施予定。計6回実施 対 象：65歳以上で参加希望の方(医師の運動制限のない人) 定 員：1回30人 内 容：フレイルチェック(簡易チェック、深堀チェック) 運 営：地域包括ケア推進課、フレイルサポーター・トレーナー</p>					
	<p>●フレイル予防教室 1回目と2回目の間に、各会場3回コースのフレイル予防教室を開催し、2回目のチェックに向けて参加者自らがフレイル予防に取り組めるような実践方法を学べるよう支援する。</p>					
	<p><地域出前型> 地域の茶の間、老人クラブなどの依頼により、フレイルサポーターが地域に出向き、簡易フレイルチェックを利用しフレイル予防の普及啓発を行う。</p>					
	<p>[事業実績] <拠点型></p>					
		会場(コミセン)	北地区	葛 塚	岡 方	合 計
	チェ ック	回 数	2回	2回	2回	6回
		延参加者数	69人	57人	42人	168人
	教室	回 数	3回	3回	3回	9回
		延参加者数	22人	53人	38人	113人

<地域出前型>

フレイルサポーター、区職員が実施。

地域の茶の間・老人クラブなどで開催 合計 13 回 参加者 186 人

<フレイルサポーター養成・育成>

- ・ 11 月にフレイルサポーター会議を開催した。
北区サポーター合計 20 人 会議出席者 11 人
- ・ フレイルチェック・予防教室・地域出前型の結果報告を行い、効果について検討共有した。
- ・ サポーター技術向上のため意見交換を行い、育成を図った。
- ・ 地区担当保健師、支え合いの推進員や地域包括支援センターなど地域の関係機関が連携して支援し、サポーターが地域で予防活動に積極的に取り組んでいくことを確認した。
- ・ R5 フレイルサポーター養成講座受講者 3 人

[今後の方針]

<拠点型>

- ・ 3 会場でフレイルチェックを実施。
予防教室は会場ごとに開催方法について検討する。
可能な限り地域関係機関と連携支援し開催する。

<地域出前型>

- ・ 関係機関と連携し、フレイルサポーターの協力を得て、拠点でのフレイルチェックと共に地域の茶の間などで簡易フレイルチェックを実施し、地域でのフレイル予防の普及啓発を図る。

<フレイルサポーター養成・育成>

- ・ 地域やフレイルチェック参加者より、フレイルサポーター候補を選出し、積極的にサポーター養成につなげる。
また、サポーターが地域関係機関と連携して積極的に活動できるよう、会議を開催し、情報共有や意見交換を行った。

